

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【公表番号】特表2016-518013(P2016-518013A)

【公表日】平成28年6月20日(2016.6.20)

【年通号数】公開・登録公報2016-037

【出願番号】特願2016-512935(P2016-512935)

【国際特許分類】

F 2 1 S	2/00	(2016.01)
F 2 1 V	7/22	(2006.01)
F 2 1 V	29/507	(2015.01)
F 2 1 V	29/503	(2015.01)
F 2 1 V	29/70	(2015.01)
F 2 1 Y	115/10	(2016.01)

【F I】

F 2 1 S	2/00	2 1 1
F 2 1 V	7/22	1 0 0
F 2 1 V	7/22	2 0 0
F 2 1 V	29/507	
F 2 1 V	29/503	
F 2 1 V	29/70	
F 2 1 Y	101:02	

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月11日(2017.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

LEDランプであって、

放熱性基部と、

前記放熱性基部と熱連通する、複数のLEDを含むLEDアセンブリと、

前記LEDアセンブリを覆って配置され、前記放熱性基部に結合された電球であって、
前記電球は内部面と上部面とを形成し、前記上部面は、前記電球の前記内部面に沿って位置付けられる、前記電球と、

前記電球の内部に配置され、前記LEDアセンブリによって発せられた光の一部を実質的に下向き方向に反射するように構成された反射挿入体と、を備え、

前記反射挿入体は、

円周部を含む円形開口部を形成する内縁部であって、前記反射挿入体の前記円形開口部の前記円周部が前記LEDアセンブリによって発せられた光の残り部分を前記反射挿入体を通過させ且つ前記電球の前記上部面に向かうほぼ上向きに放射させる、前記内縁部と、

前記電球の前記内部面とぴったりとくっついている前記外縁部と、を備えることを特徴とするLEDランプ。

【請求項2】

前記反射挿入体は、実質的に平坦である、

請求項1に記載のLEDランプ。

【請求項 3】

前記反射挿入体は、前記電球の中心部に配置され、前記反射挿入体の外円周は、前記電球の前記中心部の内円周と実質的に同じである、

請求項1に記載のLEDランプ。

【請求項 4】

前記反射挿入体は、紙を含む、
請求項1に記載のLEDランプ。

【請求項 5】

前記反射挿入体は、プラスチックを含む、
請求項1に記載のLEDランプ。

【請求項 6】

前記反射挿入体は、反射性コーティングを含む、
請求項1に記載のLEDランプ。

【請求項 7】

前記反射挿入体は、前記電球の内部に前記LEDアセンブリと実質的に平行に配置される、

請求項1に記載のLEDランプ。

【請求項 8】

前記電球は透明である、
請求項1に記載のLEDランプ。

【請求項 9】

前記反射挿入体の前記外縁部は、前記電球の前記内部面と対応する外円周を含む、
請求項1に記載のLEDランプ。

【請求項 10】

前記反射挿入体の前記外円周は、前記反射挿入体が前記電球内に位置付けられる位置を定める、
請求項9に記載のLEDランプ。

【請求項 11】

前記反射挿入体の前記円形開口部の前記円周部は、前記LEDアセンブリによって発せられた光の約60%を前記反射挿入体を通過させ且つ前記電球の前記上部面に向かうほぼ上向きに放射させるサイズにされる、
請求項1に記載のLEDランプ。

【請求項 12】

前記反射挿入体の前記円形開口部の前記円周部は、前記LEDアセンブリによって発せられた光のどれほどを前記反射挿入体を通過させ且つほぼ上向きに放射させるかを決定する、
請求項1に記載のLEDランプ。